「災害時における河川災害応急復旧業務に関する協定(一般土木)」について

標記について、協定締結に参加希望される方は下記により申請書類を提出して下さい。

平成4年5月27日

国土交通省 関東地方整備局 相模川水系広域ダム管理事務所長 羽 澤 敏 行

記

#### 1. 協定の目的

相模川水系広域ダム管理事務所が管理する河川管理施設等において発生した 災害の応急復旧に関し、これに必要な建設機械、資材及び労力等について相模 川水系広域ダム管理事務所と災害協定会社の双方がその確保及び動員の方法を 定め、もって災害の拡大防止と被害施設の早期復旧について、その円滑な運営 を期することを目的とします。

#### 2. 協定内容

- (1)協定書(案) 別冊のとおり
- (2)協定区間 別紙のとおり
- (3) 本協定で想定している応急復旧に関する作業は、土木関係の応急復旧等を想定しています。

#### 3. 申請者の条件

次に掲げる条件を全て満足する者とする。

- (1) 予算決算及び会計令(昭和22年勅令第165号)第70条及び第71 条の規定に該当しない者であること。
- (2) 関東地方整備局(港湾空港関係を除く)令和3・4年度一般競争(指名競争)入札参加資格の定期受付において令和4年8月1日までに、「一般土木工事」、「維持修繕工事」の両方又はどちらかの申請を行い、受理されている者であること。(会社更生法(平成14年法律第154号)に基づき更正手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法(平成14年法律第225号)に基づき再生手続開始の申立てがなされている

者については、手続き開始の決定後、関東地方整備局長が別に定める手続きに基づく一般競争(指名競争)入札参加資格の再認定を受けていること。)

- (3) 会社更生法に基づき、更生手続開始の申立てがなされている者又は民事 再生法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者((2)の再認 定を受けた者を除く。)でないこと。
- (4) 別表「近隣地域一覧表」に該当する区域内において、建設業法に基づく 本社・本店又は支店・営業所を有すること。
- (5)対策訓練又は講習会を開催する場合は参加できること。
- (6) 災害協定に基づき施工業者等と請負契約を取り交わす時点において、施工業者等が法定外労働災害補償制度に加入していること。また、当該法定外労働災害補償制度は、元請・下請を問わず補償できる保険であること。

なお、法定外労働災害補償制度には工事現場単位で随時加入する方式と 直前1年間の完成工事高により掛金を算出し保険期間内の工事を保険対 象とする方式があるが、いずれの方式でも良い。

ただし、当該災害協定を締結する時点においては、施工業者等が法定外 労働災害補償制度に加入していることを条件としない。

(7) 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに 準ずるものとして、国土交通省発注工事等から排除要請があり、当該状 態が継続している者でないこと。

#### 4. 協定期間

令和4年8月1日から令和7年3月31日まで

# 5. 申請書類

- (1)申請書 土木様式-1
- (2)調査票 土木様式-2

※調査票は、令和4年6月23日現在で作成して下さい。

#### 6. 申請書類の提出

申請書類は、下記の受付期間内に受付場所へ持参して下さい。郵送、FAX 及び電子メールによるものは受け付けません。

(1)受付期間

令和4年5月27日(金)から令和4年6月23日(木)までの土曜日、 日曜日、祝日を除く8時30分から17時15分までとします。

(2) 受付場所及び問い合わせ先

〒252-0156 神奈川県相模原市緑区青山字南山2145-50 国土交通省関東地方整備局相模川水系広域ダム管理事務所 施設管理課 TEL 046-281-6911

# (3)提出物及び部数

提出物

申請書(土木様式-1)

調査票(土木様式-2)

提出部数 1部 (A4サイズ)紙によるものとします。

# 7. 審査基準

(1) 下記における評価項目についてそれぞれ評価を行います。

1. 災害協定に基づく出動	て言のいざなかの注記機械の但もの	
「、火音励化に基づく山動	下記のいずれかの建設機械の保有の	建設機械を保
要請を行った場合に出動で	有無	有していない
きる建設機械等の台数	・バックホウ (0.45m3以上)	場合
(土木様式-2)	・ブルドーザ (3t以上)	
	・ダンプトラック (2t以上)	
	·移動式クレーン(4.9t吊以上)	
	(協力会社等含む※)	
2. 災害協定に基づく出動	下記資格等を1つ以上有している技	資格等の保有
要請を行った場合の技術者	術者の有無	者を確保でき
の可否	• 技術士(建設部門、農業部門(選	ない場合
(土木様式-2)	択科目を「農業土木」とするものに	
	限る。)、森林部門(選択科目を「森	
	林土木」とするものに限る。)、総	
	合技術監理部門(選択科目を「建設」、	
	「農業-農業土木」又は「森林-森	
	林土木」とするものに限る))	
	・1級又は2級土木施工管理技士	
	・1級又は2級建設機械施工技士	
3. 災害協定に基づく出動	作業員の有無	作業員を確保
要請を行った場合の作業員	(協力会社含む※)	できない場合
の可否(土木様式ー2)		
4. 神奈川県内において、	神奈川県内において、関東地方整備	施工実績が無
関東地方整備局発注工事の	局発注工事の平成18年度以降の元	い場合
工事実績(土木様式-2)	請けとしての施工実績	
5. 過去2年間の工事成績	関東地方整備局(港湾空港関係を除	平均点が60
評定点の平均点	く。)発注工事の平成31年4月1	点未満の場合
	日から令和3年3月31日までに完	
	成した工事の工事成績評定点の平均	
	点	

※建設機械の保有に関して、自社保有であることを証する書面の写し、又

は協力会社・協定会社又はリース会社(以下「協力会社等」という。) との協定・契約等の写しを添付して下さい。

- ※協定に基づく派遣依頼を行った場合に派遣できる作業員の人数は、協力 会社等の数量を含めてもかまいません。
- ※作業員の配備に関して、自社社員であることを証する書面の写し、又は協力会社等との協定、契約等の写しを添付してください。
- (2) 下記項目について評価対象とはしませんが、該当する場合は記載して下さい。

項目	内 容	備考
〇 災害協定に基づく出動	備蓄資材(砕石・栗石、大型土のう	
要請を行った場合に提供で	袋、敷鉄板)	
きる備蓄資材の可否		
(土木様式-2)		

※備蓄資材は、協力会社等の数量を含めてもかまいません。

#### 8. 選定結果の通知

提出された申請書類を審査の上、「災害時における河川災害応急復旧業務に関する協定(一般土木)」(以下「災害協定(一般土木)」という。)の選定結果を申請者へ書面にて通知するとともに、相模川水系広域ダム管理事務所の掲示板に掲示します。

なお、通知は令和4年7月11日(月)を予定しています。

#### 9. 締結できない者に対する理由の説明

災害協定を締結できないと通知された申請者は、相模川水系広域ダム管理事務所長に対して締結できない理由について、以下に従い書面(自由様式)により説明を求めることができます。なお、書面は持参して下さい。郵送、FAX及び電子メールによるものは受け付けません。

#### (1)提出期限

令和4年7月12日(火)から令和4年7月18日(月)までの 8時30分から17時15分までとします。

- (2)提出場所
  - 6. (2)の受付場所と同じ。
- (3) 回答期限及び方法 令和4年7月25日(月)までに書面により回答します。

#### 10. その他

- (1) 申請書類作成等に要する費用は、提出者の負担とします。
- (2) 申請書類は、相模川水系広域ダム管理事務所ホームページの「最新のお 知らせ」からダウンロードしてください。相模川水系広域ダム管理事務

所ホームページアドレス http://www.ktr.mlit.go.jp/sagami/

- (3)提出された申請書類は、当目的以外には使用しません。
- (4) 提出された申請書類は返却しません。
- (5) 災害協定締結後、所定の書式により緊急時・平常時の連絡先及び建設機械、資材、技術者・作業員数の保有等の状況調査を行います。 調査内容、時期は以下のとおりです。

#### ①調査内容

- ・緊急時、平常時の担当者連絡先、担当者の氏名、所属部署、役職、 会社の直通電話、会社で使用している電子メールアドレス、保有し ている携帯電話の番号及びメールアドレス
- ・技術者・作業員の人数及び建設機械等の台数、出動可能な技術者の 人数及び作業員の人数、建設機械・資材等の数量及び保管場所
- ・他機関との協定状況 他機関と災害時における協定又は契約の締結状況

#### ②調査時期

- R4 年度は8月期に依頼します。R5 年度、R6 年度は4月期に依頼します。
- ③提出先
- 6. (2) の受付場所と同じ。
- 4)提出方法

電子メール、郵送、又は持参によるものとします。

- (6) 令和5年度以降の関東地方整備局における「一般土木工事」及び「維持 修繕工事」に係る一般競争(指名競争)入札参加資格の認定を受けられ ない場合は、以後協定は無効となります。
- (7)総合評価落札方式による入札における加点について 本災害協定を締結する者は、相模川水系広域ダム管理事務所が発注する 総合評価落札方式で有利に評価される工事があります。
- (8) 本公示文、協定書(案)、協定区間、申請書及び調査票については、当 事務所のホームページ及び下記に示す当事務所及の掲示板にて、閲覧が 可能です。

# ◆掲示場所、期間及び時間

#### 【掲示場所】

・相模川水系広域ダム管理事務所 展望室(1階)掲示板

# 【掲示期間及び時間】

令和4年5月27日(金)から令和4年6月23日(木) 8:30から17:15までの間(土曜日、休祭日は除く)

# 近隣地域一覧表

# <神奈川県>

横浜市、川崎市(麻生区、多摩区、宮前区、高津区、中原区、幸区)、相模原市、鎌倉市、厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、小田原市、南足柄市、愛川町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、清川村

#### <山梨県>

上野原市、大月市、都留市、西桂町、小菅村、道志村、山中湖村、忍野村

#### <東京都>

世田谷区、杉並区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、 町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、狛江市、 清瀬市、東久留米市、多摩市、稲城市、武蔵村山市、青梅市、あきる野市、 西東京市、東大和市、昭島市、福生市、羽村市、瑞穂町、日の出町、奥多摩 町、檜原村

# (案)

# 災害時における河川災害応急復旧業務に関する協定書 (一般土木)

国土交通省関東地方整備局相模川水系広域ダム管理事務所長 羽澤 敏行 (以下「甲」という。)と、〇〇〇〇〇〇〇代表取締役〇〇〇〇〇(以下「乙」 という。)は、河川の自然災害時の緊急活動が流域住民の被災軽減に極めて大 きく寄与することに鑑み、地震、洪水等の異常な自然現象下で発生した災害(以 下「災害」という。)における災害の拡大防止のための応急復旧業務(以下「業 務」という。)の実施に関し、次のとおり協定する。

(目的)

第1条 この協定は相模川水系広域ダム管理事務所が管理する河川管理施設等(以下「管理施設」という。)において発生した災害の応急復旧に関し、これに必要な建設機械、資材及び労力等(以下「建設資機材等」という。)について、甲乙双方がその確保及び動員の方法を定め、もって災害の拡大防止と軽減について、その円滑な運営を期することを目的とする。

# (協定の適用区分)

第2条 協定が適用される区分は、土木関係に関する応急復旧等とする。

# (業務の実施区間)

第3条 業務の実施区間は相模川水系広域ダム管理事務所直轄管理区間とし、 別紙のとおりとする。

#### (業務の実施体制)

- 第4条 甲は、当該管理施設の災害に係わる緊急活動が必要と認められるとき には、被害状況に応じて書面または電話などの方法により乙に出動を 要請するものとする。
  - 2. 乙は、要請を受けた場合、直ちに管理施設の被災状況の把握と報告、並びに甲の指示により活動を実施するものとする。
  - 3. 乙は、出動要請を受けた場合は、速やかに現場責任者を定めるものとする。

4. 乙は、災害発生時に甲が連絡体制、人員の確保の可否、資機材の状況等の確認を実施した場合、速やかに調査し報告するものとする。

# (業務の指示)

第5条 業務の指示は、甲又は施設管理課長が行うものとし、乙はその指示に 従うものとする。

#### (業務の完了)

第6条 乙又は第4条第3項で定めた現場責任者は、業務を完了したとき電話 等の方法により直ちに職員等へその旨を報告するものとする。

# (業務の実施報告)

第7条 乙は、業務が完了したときには、作業開始時刻、作業終了時刻及び使 用した建設資機材等を速やかに施設管理課長へ報告するものとする。

# (契約の締結)

第8条 甲は、第4条第1項により乙に出動を要請したときは、遅滞なく随意 契約を締結するものとする。なお乙は随意契約の締結にあたり、法定 外労働災害補償制度に加入しているものとする。

#### (連絡先の報告、提出)

- 第9条 乙は、予め災害に備え第4条第2項の業務に際し、甲へ連絡する人員 を確保し、連絡先を甲へ書面により報告するものとする。
  - 2. 乙は、前項で報告した内容に変更が生じたとき又は連絡先の現状について甲が特に報告を求めたときは、遅滞なくその資料を甲に提出するものとする。
  - 3. 甲は、甲の災害時の連絡先について、予め書面により乙に通知する ものとする。

#### (建設資機材等の報告、提出)

- 第10条 乙は、予め災害に備え第4条第2項の業務に際し使用可能な建設資 機材等の数量を把握し、甲へ書面により報告するものとする。
  - 2. 乙は、前項で報告した内容に著しい変更を生じたとき又は、建設資機材等の現状について甲が特に報告を求めたときは、遅滞なくその資料を甲に提出するものとする。

3. 甲は、甲が保有する建設資機材等について、予め書面により乙に通知するものとする。

# (建設資機材の提供)

第11条 甲及び乙は、この協定に基づく災害にかかる緊急活動に関しそれぞれから要請があったときは、特別な理由がない限り相互に建設資機材等を提供するものとする。

### (業務の特例)

第12条 乙は、甲が特に必要として第3条に規定する以外の区間に出動を要請したときは、原則としてこれに応ずるものとする。

# (訓練等の参加)

第13条 乙は、甲が主催する訓練、講習会等に、甲からの要請があった場合 は参加するものとする。なお、参加に伴う費用負担は乙が行うものと する。

# (費用の請求)

第14条 乙は、業務完了後当該業務に要した費用を第8条により締結した契約に基づき甲に請求するものとする。

# (費用の支払い)

第15条 甲は前条の規定による請求を受けたときは、その内容を精査し第8 条により締結した契約に基づき費用を支払うものとする。

### (被害の負担)

第16条 業務の実施にともない、甲乙双方の責に帰さない理由により第三者 に損害を及ぼしたとき、または、建設資機材等に損害が生じたときは、 乙はその事実の発生後遅滞なくその状況を書面により報告しその処置 について、甲乙協議し定めるものとする。

# (有効期限)

第17条 この協定の有効期限は、令和4年8月1日から令和7年3月31日 までとする。

### (協定の解除)

- 第18条 甲は、乙が社会的信用を著しく傷つける行為があったとき又は協定 を継続できない事情が発生したときには、この協定を解除することが 出来るものとする。
  - 2. 乙が申請し、甲が認めた場合は協定を解除することができるものとする。

# (協議)

第19条 この協定に定めない事項または疑義を生じた事項については、その 都度甲乙双方が協議して定めるものとする。

# (協定の効力)

第20条 乙が関東地方整備局長から、地方支分部局所掌の工事請負契約に係 る指名停止等の措置要領(昭和59年3月29日 建設省厚第91号) に基づく指名停止期間中はこの協定を適用しない。

ただし、予め局長の承認を受けた場合は、その限りではない。

2. 乙が関東地方整備局(港湾空港関係を除く)一般競争(指名競争) 入札参加資格業者のうち、一般土木工事又は維持修繕工事のいずれか に登録されていない場合はこの協定を適用しない。

#### (雑則)

第21条 この協定の証として本書を二通作成し、甲乙記名捺印の上各自一通 を保有する。

令和4年7月28日

甲 国土交通省 関東地方整備局相模川水系広域ダム管理事務所長 羽澤 敏行



